

# Cisco IP 電話 7800 シリーズ ファームウェア リリース 12.7(1) リリースノート

初版 : 2020 年 1 月 23 日

最終更新 : 2020 年 3 月 11 日

## Cisco IP 電話 7800 シリーズ ファームウェア リリース 12.7(1) リリースノート

これらのリリースノートでは、SIP ファームウェアリリース 12.7(1) を実行している Cisco IP 電話 7811、7821、7841 および 7861 をサポートしています。

次の表に、Cisco IP 電話のサポートの互換性を示します。

表 1 : Cisco IP 電話、Cisco Unified Communications Manager およびファームウェア リリースの互換性

Cisco IP 電話	Cisco Unified Communications Manager
Cisco IP 電話 7811、7821、7841 および 7861	Cisco Unified Communications Manager バージョン 8.5(1) 以降 Cisco Unified Communications Manager DST Olsen バージョン D 以降 SRST 8.0 (IOS ロード 15.1 (1) T) 以降
Cisco IP 電話 7811、7821、7841 および 7861	CME 10.0 (IOS ロード 15.3 (3) M)
Cisco IP 電話 7811、7821、7841 および 7861	Cisco Expressway X 8.7 または Cisco TelePresence Video Communication Server X 8.7 (Mobile & Remote Access 用)

### 関連資料

次の項を使用して、関連情報を取得してください。

#### Cisco IP 電話 7800 シリーズのマニュアル

お使いの言語、電話機モデルおよびコール制御システムを参照してください。次のドキュメント URL から参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/products/collaboration-endpoints/unified-ip-phone-7800-series/index.html>

## Cisco Unified Communications Managerのマニュアル

『Cisco Unified Communications Manager Documentation Guide』およびご使用の Cisco Unified Communications Manager リリースに特化したその他の文書を参照してください。次のドキュメント URL から参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-communications-manager-callmanager/tsd-products-support-series-home.html>

## 新機能および変更された機能

次のセクションでは、このリリースで新しく追加または変更された機能について説明します。

### ファームウェア リリースで使用可能な機能

ここでは、ファームウェア リリースで使用可能な機能について説明します。

### 電話機での電子フックスイッチ制御の有効化

ユーザは、電話機から電子フックスイッチコントロールまたは電子フックを有効にすることができますようになりました。以前は、このパラメータは Cisco Unified Communications Manager の [電話 (Phone)] ページにありました。この機能向上により、ヘッドセットを有効にして使用することが容易になります。

電話機の管理設定にアクセスできるようにします。[管理者設定 (Admin settings)] > [Auxポート (Aux port)] を調整することで、ユーザはこのパラメータを有効化できます。

#### 詳細情報の入手先

- Cisco IP 電話 7800 シリーズ ユーザ ガイド

### ハントグループと着信コールアラート

ハントグループを設定することで、着信コールに対してハントグループ名またはハントグループ番号を表示できます。これにより、ユーザは、キューにログインしているときにグループコールを認識、応答しやすくなります。

デフォルトでは、着信コールにパイロット番号が表示されます。グループ名を表示するには、パイロット番号を設定するときに、[呼び出し表示 (Alerting Name)] フィールドに名前を入力します。

この機能には、Cisco Unified Communications Manager 11.5(1)SU1 以降が必要です。

#### 詳細情報の入手先

- Cisco Unified Communications Manager リリース 12.5(1) 機能設定ガイド
- Cisco IP 電話 7800 シリーズ ユーザ ガイド

## ボタンの LED と省電力モードを選択します

電力節約モードでは、ユーザは [選択 (Select)] ボタンの LED をオフにすることができます。これにより、視覚的な注意散漫を低減させることができます。

ユーザは、[設定 (Settings)] > [省電力インジケータ (Power save indicator)] で [選択 (Select)] ボタン LED を制御します。

### 詳細情報の入手先

- Cisco IP 電話 7800 シリーズユーザガイド

## Cisco ヘッドセット 500 シリーズをサポートするためのユーザ インターフェイスの機能拡張

IP Phone Web ページにあるヘッドセット情報を使用して、問題のトラブルシューティングを支援できます。Web ページにアクセスすると、その情報は [デバイスの情報 (Device Information)] ページに表示されます。

次の情報が表示されます。

- [ポート (Port)]: ヘッドセットが電話機に接続する方法を表示します。
- [バージョン (Version)]: ヘッドセットのファームウェアバージョンが表示されます。
- [無線範囲]: DECT 無線機用に設定された強度を表示します。Cisco ヘッドセット 560 シリーズのみに適用されます。
- [帯域幅 (帯域幅)]: ヘッドセットがワイドバンドまたは狭い帯域を使用する場合)。Cisco ヘッドセット 560 シリーズのみに適用されます。
- [Bluetooth]: Bluetooth が有効または無効になっている場合に表示されます。Cisco ヘッドセット 560 シリーズのみに適用されます。
- [会議]: 会議機能が有効または無効になっている場合に表示されます。Cisco ヘッドセット 560 シリーズのみに適用されます。

この機能はユーザに影響しません。

### 詳細情報の入手先

- Cisco IP 電話 7800 シリーズ アドミニストレーションガイド (Cisco Unified Communications Manager 用)
- Cisco ヘッドセット 500 シリーズ マニュアル

## インストール

### インストール要件

ファームウェア リリースをインストールする前に、Cisco Unified Communications Manager が最新のデバイスパックを実行していることを確認する必要があります。クラスタ内の Cisco Unified

Communications Manager サーバにデバイスパックをインストールした後、すべてのサーバを再起動する必要があります。



- (注) このファームウェア リリースをサポートするために必要なデバイスパックが Cisco Unified Communications Manager がない場合は、ファームウェアが正常に動作しない可能性があります。

Cisco Unified Communications Manager デバイスパックについては、[http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice\\_ip\\_comm/cucm/compat/devpack\\_comp\\_mtx.html](http://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/voice_ip_comm/cucm/compat/devpack_comp_mtx.html) を参照してください。

## Cisco Unified Communications Manager にファームウェア リリースをインストールする

Cisco Unified Communications Manager リリースで電話のファームウェア リリースを使用する前に、クラスタ内のすべての Cisco Unified Communications Manager サーバに最新の Cisco Unified Communications Manager ファームウェアをインストールする必要があります。

### 手順

**ステップ 1** 次の URL にアクセスします。

<https://software.cisco.com/download/navigator.html?mdfid=284883944&i=rm>

**ステップ 2** **Cisco IP 電話 7800 シリーズ** を選択してください。

**ステップ 3** ご使用の電話機モデルを選択してください。

**ステップ 4** **Session Initiation Protocol (SIP) ソフトウェア** を選択します。

**ステップ 5** [最新のリリース (Latest Releases)] フォルダで、**[12.7(1)]** を選択します。

**ステップ 6** ファームウェア ファイルを選択し、**[ダウンロード (Download)]** または **[カートに追加 (Add to cart)]** ボタンをクリックして、プロンプトに従います。

ファームウェアのファイル名は `cmterm-78xx.12-7-1-0001-393.k3.cop.sgn` です

- (注) ファームウェア ファイルをカートに追加した場合、ファイルをダウンロードする準備ができたなら **[カートのダウンロード]** リンクをクリックします。

**ステップ 7** このファイルに関する追加情報にアクセスするには、**[カートのダウンロード (Download Cart)]** セクションのファームウェアファイル名の横にある **[+]** をクリックします。**[追加情報]** セクションには、該当するファームウェアのインストール手順が記載された **Readme** ファイルへのハイパーリンクがあります。

**ステップ 8** **Readme** ファイルの手順に従って、ファームウェアをインストールします。

## ファームウェアの Zip ファイルのインストール

インストーラ プログラムのロードに Cisco Unified Communications Manager を使用できない場合は、次の `.zip` ファイルを使用してファームウェアをロードできます。

- cmterm-78xx.12-7-1-0001-393.zip

## 手順

**ステップ 1** 次の URL にアクセスします。

<http://software.cisco.com/download/navigator.html?mdfid=284883944&i=rm>

**ステップ 2** Cisco IP 電話 7800 シリーズ を選択してください

**ステップ 3** ご使用の電話機モデルを選択してください。

**ステップ 4** Session Initiation Protocol (SIP) ソフトウェアを選択します。

**ステップ 5** [最新のリリース (Latest Releases) ] フォルダで、[12.7(1)] を選択します。

**ステップ 6** 関連する zip ファイルをダウンロードします。

**ステップ 7** ファイルを解凍します。

**ステップ 8** 解凍したファイルを TFTP サーバ上のディレクトリに手動でコピーします。ファームウェア ファイルをサーバに手動でコピーする方法については、『Cisco Unified Communications Operating System Administration Guide』を参照してください。

## 制限事項

### 製造時にインストールされた証明書署名および SHA-256 サポート

製造時にインストールされた証明書(MIC) シグニチャが、rsa を使用して SHA-128 から SHA-256 に更新されています。セキュア モードが機能するためには、Cisco Unified Communications Manager で新しい SHA-2 証明書を更新してインストールする必要があります。 [Http://www.Cisco.com/security/pki/certs/cmca2.cer](http://www.Cisco.com/security/pki/certs/cmca2.cer) から新しい証明書をダウンロードできます。

電話機の MIC を認証するすべてのアプリケーションは、次を含む MIC を更新する必要があります。

- Cisco Unified Communications Manager
- Cisco Unified Survivable Remote Site Telephony
- Cisco Secure Access Control System
- Cisco Identity Services Engine

SHA-2 の使用とサポートの追加情報については、『Security Guide for Cisco Unified Communications Manager』 (<https://www.cisco.com/c/en/us/support/unified-communications/unified-communications-manager-callmanager/products-maintenance-guides-list.html>) を参照してください。

## ネットワーク輻輳時の電話の動作

ネットワークパフォーマンスの低下の原因となるものは、電話の音声にも影響を及ぼすため、場合によっては、コールがドロップする可能性があります。ネットワークパフォーマンスの低下は、次のような原因が考えられます。

- 内部ポート スキャンやセキュリティ スキャンなどの管理タスク
- サービス拒否攻撃など、ネットワーク上で発生した攻撃

## 医療環境

本製品は、医療機器ではないため、他のデバイスや機器からの干渉を受けやすい、ライセンス不要の周波数帯域を使用します。

## SIP 電話でのオンフック転送の制限

**[オンフック転送の有効化]** ( Cisco Unified Communications Manager ) フィールドが有効になっている場合、ユーザは SIP 電話のダイレクトコール転送に関する問題を報告することがあります。ユーザがコールを転送し、すぐにオンフックになってから呼出音信号が聞こえる場合、コールは転送されずにドロップされることがあります。

コールがルーティングされていることを確認できるように、ユーザはリング信号を聞く必要があります。

## リリース 11.0 からのファームウェアのダウングレード時の呼出音の制限

電話機がファームウェア リリース 11.0 からファームウェア リリース 10.3 にダウングレードすると、着信コールの際に電話機が鳴らない場合があります。回線の呼出音は削除されており、**[設定 (Settings) > 呼出音 (Ringtone)]**メニューで手動で設定する必要があります。

## PC および SW ポートとの接続

机上に LAN ケーブルが 1 本しかない場合、SW ポートで電話機を LAN に接続し、コンピュータを PC ポートに接続します。

また、2 台の電話機をダイジー チェーンで接続することもできます。最初の電話機の PC ポートを 2 台目の電話機の SW ポートに接続します。



**注意** SW ポートと PC ポートは LAN に接続しないでください。

## 言語の制限

次のアジア ロケールについては、ローカライズされた Keyboard Alphanumeric Text Entry (KATE) のサポートはありません。

- 中国語 (中国)
- 中国語 (香港)

- 中国語（台湾）
- 日本語（日本）
- 韓国語（韓国）

その代わりに、デフォルトとして英語（米国）の KATE がユーザーに表示されます。

たとえば、電話画面には韓国語でテキストが表示されるとしてもキーパッドの **2** キーには、**a b c 2 A B C** と表示されます。

## 不具合

### 注意事項の表示

Cisco Bug Search を使用して警告 (バグ) を検索できます。

既知の注意事項 (バグ) は、重大度レベルに従ってグレードが付けられており、未解決または解決済みの場合があります。

#### 始める前に

警告を表示するには、次の項目が必要です。

- インターネット接続
- ウェブブラウザ
- Cisco .com のユーザ ID とパスワード

### 手順

**ステップ 1** 次のいずれかの操作を実行します。

- すべての注意事項について、次の URL を使用してください。

[https://bst.cloudapps.cisco.com/bugsearch/search?kw=\\*&pf=prdNm&pfVal=284883944&rls=12.7\(1.\\*\),12.7\(1\)&sb=anfr&svr=3nH&bt=custV](https://bst.cloudapps.cisco.com/bugsearch/search?kw=*&pf=prdNm&pfVal=284883944&rls=12.7(1.*),12.7(1)&sb=anfr&svr=3nH&bt=custV)

- 未解決のすべての警告には、次の URL を使用します。

[https://bst.cloudapps.cisco.com/bugsearch/search?kw=\\*&pf=prdNm&pfVal=284883944&rls=12.7\(1\)&sb=af&sts=open&svr=3nH&bt=custV](https://bst.cloudapps.cisco.com/bugsearch/search?kw=*&pf=prdNm&pfVal=284883944&rls=12.7(1)&sb=af&sts=open&svr=3nH&bt=custV)

- 解決済みのすべての警告には、次の URL を使用します。

[https://bst.cloudapps.cisco.com/bugsearch/search?kw=\\*&pf=prdNm&pfVal=284883944&rls=12.7\(1.\\*\),12.7\(1\)&sb=fr&sts=fd&svr=3nH&bt=custV](https://bst.cloudapps.cisco.com/bugsearch/search?kw=*&pf=prdNm&pfVal=284883944&rls=12.7(1.*),12.7(1)&sb=fr&sts=fd&svr=3nH&bt=custV)

**ステップ 2** プロンプトが表示されたら、Cisco .com ユーザ ID とパスワードを使用してログインします。

**ステップ 3** (任意) [検索 (Search for)] フィールドにバグ ID 番号を入力し、[入力 (Enter)] を押します。

## 未解決の注意事項

次のリストには、ファームウェアリリース 12.7(1) の Cisco IP 電話 7800 シリーズで未解決の重大度 1、2 および 3 の不具合が含まれています。

個々の障害の詳細については、バグ検索ツールキットにアクセスし、識別子を使用して問題を検索してください。このオンライン情報にアクセスするには、Cisco.com ユーザを登録する必要があります。

不具合の状態は頻繁に変わるため、このリストはこのレポート編集時点で未解決だった不具合のスナップショットを表しています。未解決の不具合に関する最新情報については、[注意事項の表示 \(7 ページ\)](#) で説明されている Bug Toolkit にアクセスしてください。

- CSCvs26183 78xx 電話機の Aux ポートアップグレード 56 x にヘッドセットなしで 22 分かかる

## 解決済みの不具合

次のリストには、ファームウェアリリース 12.7(1) の Cisco IP 電話 7800 シリーズで解決される重大度 1、2 および 3 の不具合が含まれています。

個々の障害の詳細については、バグ検索ツールキットにアクセスし、識別子を使用して問題を検索してください。このオンライン情報にアクセスするには、Cisco.com ユーザを登録する必要があります。

不具合の状態は頻繁に変わるため、このリストはこのレポート編集時点で未解決だった不具合のスナップショットを表しています。解決済みの不具合に関する最新情報については、[注意事項の表示 \(7 ページ\)](#) で説明されている Bug Toolkit にアクセスしてください。

- CSCvn39109 88XX/78xx/7832/8832 は、[Call-Info hunt piloturi] パラメータを解析できない
- CSCvq93141 外部電話番号マスクは、11 回線以上が設定されている場合、着信コール後のディレクトリ番号として表示されない
- CSCvq94805 7861 ハンドセットへのオーディオカットスルーが遅くなる場合がありますへの新たな見直し
- CSCvr27035 7841 電話機はカスタム ディレクトリ URL を要求しない
- CSCvr54598 12.6 へのアップグレード後、断続的に呼び出し音が鳴らない
- CSCvr96739 Cisco IP 電話におけるリモート コード実行およびサービス拒否の脆弱性

## Cisco IP 電話ファームウェアのサポート ポリシー

電話機のサポート ポリシーについては、<https://cisco.com/go/phonefirmwaresupport> を参照してください。



## Cisco Unified Communications Manager 公開キー

ソフトウェア保全性保護を強化するために、Cisco Unified Communications Manager リリース 10.0.1 以上の cop ファイルの署名には、新しい公開鍵が使用されます。これらの cop ファイル名には「k3」があります。10.0.1 より前の Cisco Unified Communications Manager に k3 cop ファイルをインストールするには、Cisco cm.version3-keys.cop.sgn の README をお読みになり、その追加の cop ファイルを、まず特定の Cisco Unified Communications Manager のバージョンにインストールする必要があるかどうかを判断してください。これらの鍵が存在していないものの必要である場合は、ソフトウェアパッケージをインストールしようとする、「The selected file is not valid」というエラーが表示されます。

## Unified Communications Manager Endpoints Locale Installer

デフォルトでは、Cisco IP 電話は英語（米国）のロケール用に設定されます。それ以外のロケールで Cisco IP 電話を使用するには、そのロケール固有のバージョンの Unified Communications Manager Endpoints Locale Installer を、クラスタ内の各 Cisco Unified Communications Manager サーバにインストールする必要があります。Locale Installer は電話機のユーザ インターフェイス用の最新版の翻訳テキストおよび国別の電話トーンをシステムにインストールし、Cisco IP 電話に使用できるようにします。

リリースに必要な Locale Installer にアクセスするには、<https://software.cisco.com/download/navigator.html?mdfid=286037605&flowid=46245> にアクセスし、お使いの電話機モデルに移動して、Unified Communications Manager Endpoints Locale Installer リンクを選択します。

詳細については、特定の Cisco Unified Communications Manager リリースのマニュアルを参照してください。



(注) 最新の Locale Installer がすぐに利用できるとは限らないため、Web サイトの更新を継続的に確認してください。

---

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（[www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The following information is for FCC compliance of Class A devices: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio-frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instruction manual, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case users will be required to correct the interference at their own expense.

The following information is for FCC compliance of Class B devices: This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If the equipment causes interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, users are encouraged to try to correct the interference by using one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Modifications to this product not authorized by Cisco could void the FCC approval and negate your authority to operate the product.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED "AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

All printed copies and duplicate soft copies of this document are considered uncontrolled. See the current online version for the latest version.

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses and phone numbers are listed on the Cisco website at [www.cisco.com/go/offices](http://www.cisco.com/go/offices).

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: [www.cisco.com/go/trademarks](http://www.cisco.com/go/trademarks). Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2020 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.